



アメリカ穀物協会

Global Update

2012年1月26日号

### 低脂肪 DDGS の供給が増加

DDGS を製造している米国のエタノール工場では、エタノール製造工程で非食品グレードのコーン油を抽出する装置の更新が進められています。

通常の DDGS が 10 から 15%の脂肪を含むのに対し、低脂肪のものは、脂肪含量が低く、通常の DDGS と比較してその性質や給餌価値が異なります。

おおよそ 200 か所の乾式法によるエタノール製造工場のうち、約 9 割が脂肪抽出能力を持ち、105 工場がこの夏までに抽出を始めるでしょう。

「生産量からいうと、米国内で現在製造されている DDGS の約 4 割が低脂肪で、58%が夏までに低脂肪になるでしょう」とアメリカ穀物協会付加価値製品諮問委員会委員長でもあるガビロン社のランディ・アイブスは述べています。

アイブスによれば、低脂肪 DDGS は高い粗タンパク質と高いレベルのアミノ酸を持っているとのこと。濃縮されたアミノ酸プロファイルは、家禽や豚のような単胃動物には適しており、乳牛では、低脂肪 DDGS の低い脂肪含量のおかげで、これまで以上に多く用いることができるようになるかもしれません。

通常の DDGS と同じ外見を持っていますが、低脂肪の乾燥品は流動性に優れています。

アメリカ穀物協会では、低脂肪 DDGS の性質を定量的に解析する研究が進行中であると認識しています。これらの結果は 2012 年末に向けて出てくるでしょう。

バイヤーとセラーはしばしばタンパク質と脂肪の量を契約の中に加えています。今後、それに変化がもたらされるかもしれません。

「これらの傾向により、問い合わせやコミュニケーションがより一層重要になっていきます。重要なことは、たんぱく質と脂肪のレベルをそれぞれ別に特定して要求していく立場

に戻り、最終出荷の際の微妙な差異に埋め合わせるディスカウントスケジュールを設定することでしょ

う」とアイブスは述べています。

低脂肪 DDGS は、それぞれのバイヤーごとに、最終的な利用法により違った価値を持つ優れた製品です。アイブスによれば「バイヤーからサプライヤーへの問い合わせを通じた、サプライヤーの責任のある商品提供が重要」とのことです。

なぜ脂肪を抽出するのか？

ほんの 5 年前には、非食品グレードのコーン油を抽出については、その装置が高価で油にもほとんど価値がなかったため、どのエタノール工場にもその能力がありませんでした。しかし現在では、非食品グレードのコーン油の価値は高くなるとともに、乳化と遠心技術が進歩したことによって、脂肪抽出装置の償却を最短半年でできるようになりました。

たとえば、1,600 万ブッシェルのトウモロコシを用いて 4 千万ガロンのエタノールを生産する工場では、135,000 トンの低脂肪 DDGS と 800 万から 1,200 万ポンドの油も生産することができます。

「投資へのこのようなすぐれた見返りのため、驚異的なスピードで採用されているのです」とアイブスは述べています。

アメリカ穀物協会注：2012 年 10 月現在、おおよそ 6 割から 7 割のエタノール工場が脂肪抽出をしていると推測されます。